



酒匂の清流



令和5年3月1日(水)発行

校長 津田 将美

QRコードは、ホームページのアドレスです

満開の桜に向かう ～ひまわり遠足から～

松田山の河津桜が満開を迎え、松田町の活気も最高潮に近づいています。空気まで色づくかと思うくらいのピンクに染まった松田山に向かって、多くの人が穏やかな笑顔を見せながら歩いていきます。

そんな中、2月24日に松田山でのひまわり遠足が行われました。ひまわり学級の子どもたちはこの日に向かって、長い時間をかけて一生懸命学習を進めてきました。

ひまわりストアの商品の準備に始まり、お金の計算やストアの役割分担、自分の役割のスキルアップなど、生活に根付いた活きた学びを重ねてきました。学校公開では、保護者の方々のご協力もいただき、その学びは更に深まったと感じています。

その集大成のひまわり遠足です。

週間予報では雨でしたが、子どもたちのがんばりと願いがきっと天に届いたのでしょう。暑くもなく、寒くもない絶好の遠足日和となりました。

意気揚々と松田山に向かって出発した子どもたちは、着くころには汗をいっぱいかいて、更に活気あふれる顔になっていました。その後は「さくらグループ」「やっこグループ」と松田町らしいグループ名でコースに分かれて活動しました。

すべり台を何度も何度も繰り返し行う中で、楽しいすべり方や面白いすべり方を発見し、友だちや先生たちのすべり方には歓声があがるようになりました。そして自然と励ましたり、認め合ったりする言葉が生まれてきました。

「うわ～、すごく速い!!」

「押してあげようか？」

「こっちのすべり台もやってみない？」

充実した時間を共有することで、仲間の楽しさや喜びにも共感し、相手意識を持って活動を楽しむことができるようです。熱気あふれる、あたたかい時間となりました。

グループごとに乗ったお山のポッポ鉄道では、明るい声が響きわたり、相手のグループを見かけると、遠くの方から元気に声をかけていました。仲間を大切に想う気持ちがふくらんだ素敵なひまわり遠足となりました。

今回身に付けた生きる力を残りの学校生活で多くの松田小学校の友達に、伝えてくれるといいな、と思います。

「あ～、おなかすいた…。」

充実した一日を象徴する言葉が聞こえてきました。



ダンスクラブの発表会が、昼休みに行われました。1年間練習を積み重ねてきた成果を発揮する絶好の場です。コロナも少しずつ落ち着きを見せ、このような場が今後も実施されることを願っています。

実は、保護者・地域の皆様にはお披露目できていない体育館のとおきおきの装置があったのです。下に3枚の写真を載せました。カラーでご覧いただきたいと思い、今回からホームページにアクセスできるQRコードを学校便りの表題に載せています。よかったらそちらから、カラー版をご覧ください。

新体育館のステージは、様々な色の照明を自由に变化させることができます。なかなか使用する機会がありませんでしたが、躍動するダンスにぴったりの照明となりました。照明の操作も、ダンスクラブの子どもたちが行っていたそうです。

この日は、たくさんの児童や先生が応援に体育館にやってきました。1年間がんばったことを、多くの人に観てもらえて、本当によかったです。



松田警察署スクールサポーターの桜庭さんを講師に迎え、6年生を対象とした薬物乱用防止教室が行われました。まず、日常の思わぬところに潜む危険を伝えるドラマ仕立ての映像を鑑賞しました。本人が意図しないことから使用してしまった薬物から、本人の意思とは裏腹に抜け出せなくなる怖さを知りました。たった一度の使用で負の連鎖に陥ってしまう恐ろしさを感じてくれたようでした。

やはり、警察の方のお話は説得力があります。いろいろな事例をもとに、薬物の怖さについて伝えていただきました。また、お酒やたばこの害についてもふれ、特に子どものうちの飲酒や喫煙は、体に大きな害を及ぼすものであることを教えていただきました。

自分自身の心と体の健康を守るのは、他ならぬ自分自身である…。そう強く感じさせられた授業でした。



春を待つ チューリップ

1年生が毎朝一生懸命水あげをしているチューリップの鉢に、によきによきと芽が出てきました。1年生の教室の前を通る度に、自分のチューリップの成長ぶりを話してくれる子も増えてきています。

待ち焦がれた春が、少しずつ形になって目に見えるものになってきました。

開花が楽しみです。



寒い日に…

寒さがゆれもどされるように何度も襲ってくる2月半ば、極寒の通学路を歩いていると、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。私は厚手の手袋をしっかりと歩いていたのですが、子どもたちは素手で何かを大切に持っています。

「校長先生、見て。ほら！」

大事そうに開いた手のひらには、大きな氷の塊がありました。朝日を浴びて、ダイヤモンドのようにキラキラと光っています。子どもたちにとっては、正にダイヤモンド。朝の通学路で見つけた大切な宝石です。

「手、冷たくない？」

「ぜ～んぜん、へいき～！！」

その子らは、にこにこしながら学校へと向かって行きました。

大人は寒さに首をすくめて歩くような朝でも、子どもたちにとっては普段以上に楽しみを見つけることができる素敵な時間になるようです。

